

5. 学生の意見とセンターからのコメント

科目名	意見	コメント
日本国憲法	講師の責任ではないが、共通教育の講11のマイクの音が悪いのが嫌だった。はっきりと聞こえない。	ご指摘ありがとうございます。後学期中に修理して問題は解消させました。
日本国憲法	出席点を少しでも考慮して欲しかった。教職をとっている人は必修なので。	大学における成績評価は当該科目において設定されている到達目標への到達度により測定されます。したがって大学では成績評価にあたり出席点を考慮しないことになっています。
現代と科学技術	出席は厳格にとるようにしてほしい。(他科目でも多数)	大学における成績評価は当該科目において設定されている到達目標への到達度により測定されます。したがって大学では成績評価にあたり出席点を考慮しないことになっています。目標への到達のためにはきちんと授業に出席していることが必要です。そのことを皆さんに自覚していただくために、大学では各授業において出席をきちんと取るようにしております。しかし出席を取ることが授業の目的ではありません。すべての授業で厳格に出席を取るとなると、大人数のクラスではそれだけで相当の時間を費やす必要が生じてきて、肝心の授業の時間が少なくなってしまいます。また厳格な出席にこだわりすぎますと、出席点検が過剰に厳しくなり、クラスの雰囲気が悪くなってしまいます。そのため、出席については授業担当教員の裁量による点検と学生諸君の良識に委ねるのが現実的と考えます。
現代と科学技術	この授業に限らず文系と理系の授業を分け、もっと高度な内容にしたほうがいいと思う。持っている知識がもともと違うのだから先生も教えにくいと思う。	教員サイドにも同様の意見があります。しかし共通教育は理系・文系を問わず身に付けるべき教養の獲得が目的的教育プログラムです。教員の皆さんにはこのことをご理解いただき、授業内容や教授法を工夫いただくことをお願いしております。学生の皆さんにも、自らを理系・文系と色分けするのではなく、21世紀の市民として必要な知の共有を目指して頂きたいと考えます。
物質の世界	「化学の履修は必要ない」と書かれていた(シラバス)のわりに、化学を学んだ人や工学部向けの講義で理解できなかった。テストも工学部を意識しすぎて難しく、ちゃんと勉強した人よりあまり授業にまじめに取り組んでいない理系の人たちのほうができていた。「他学部にも他の専門分野における学習の機会を与える共通教育」の意味がない授業だった。	シラバスで約束していたことが守られていないとすれば、問題ですね。本意見を当該教員に伝え、今後の改善をお願いすることとします。
自然の法則	全体的には良かったと思うが、1人の先生は自分の考えを押しつけていたり、その内容のことを考えたことがないなら今すぐ大学をやめたほうがいいのかと自分の思うようにならない学生に対して言っていた。	当該の発言のニュアンスがどの程度のものか、この記述だけではつかみきれません。受講生に問題意識を喚起するために強めの言い方をする場合もあるかと思われます。むろん聞くに堪えないような雑言はもってのほかです。よろしければ匿名で結構ですから、「なんでも意見箱」にでも発言のニュアンスについて知らせていただけませんか。
自然との共生	授業には関係ありませんが、シラバスがインターネットで見られなくなったので学習計画を立てる際不便だ。	シラバスを刊行するには数十万円の費用がかかります。前学期は新生がまだ大学に慣れていない状況ですので、印刷物にしております。後学期は皆さんがそろそろインターネットに対処するスキルを身に付けていると考え、印刷物にはしていません。不便をかけることについてはまことに申し訳ないのですが、経費と資源の節約という観点からご協力をお願いします。

科目名	意見	コメント
環境ESD指導者 養成講座	シラバスの変更が急すぎる。	シラバスの内容変更は、授業実施中に受講生からフィードバックされたレポート、発表内容などの情報をもとに、受講生の習熟度などを把握したうえで限られた時間内で最大限の教育効果を発揮するために実施したものです。ただし、日程の変更などを伴うシラバスの変更については、受講生に混乱を招くこともあり得ますので、次回からはできる限り該当日の1ヶ月前に変更を周知するように改めます。
	資格がいていた話と違う。	資格内容については、ガイダンス開催時点にカリキュラム担当教員案として上がっていたものを提示しました。ガイダンス時においては、当該資格の内容が現在検討中の事項であるため、資格内容の変更があり得るといことも口頭で説明しています。ただ、配付資料等においての記述がなかったため混乱を招いたと考えられます。しかし最終的に決定された資格内容には、当初提示した資格内容を包括的に含んでいます。
	時間が足りない割りに課題が多い。	限られた時間内で資格内容に見合う知識と経験を習得するカリキュラムを目指したため、様々な観点からの学習内容を詰め込んだことは確かです。しかし、課題を含めた授業時間については、大学レベルであれば4単位(15時間+自習30時間)の時間内でこなせると想定した内容としています。
	シンポジュームのレベルを求める割に時間がない。	この点においても上記3の内容と同様です。
	(授業の)時間延長が多すぎる。	この点については、担当教員に時間内で終了するよう周知します。
朝鮮語	朝鮮語のアドバンスト科目を開講して欲しい。	平成19年度より「未習外国語」のアドバンストクラスは共通教育においては開講されません。代わりに法文学部人文学科において中級クラスの外国語の授業を全学に開放しています。朝鮮語についても履修可能ですから、そちらでの履修を推奨します。
スポーツ	全く面識のない教育学部と共に授業を受けることは大変やりづらいこと。うまく輪に入れないこともありました。せめて理学部(英語が合同)と共に受けさせてください。	対照的な意見が並びました。スポーツのクラス編成は他の授業時間割との関係で、技術的に自由度を持たせることはできません。うまく輪に入れなかったとのことですが、そうした場合は担当教員と相談してみてください。社会活動の様々な場面で、面識のない人と一緒に活動しなければならないことは沢山あります。そのためのトレーニングの機会でもありますから、見知らぬクラスメイトにも積極的にアプローチするよう、試みるようにしてください。
スポーツ	学部学科を越えて色々な人とやりたい。そうしたら、選べるスポーツの種類も増えるだろうと思う。	
微積分	高校で数・Cを習っていない人には年間を通した微積分の本格的な補修クラスを作って欲しい。	大学としてもご指摘の点について深刻な問題として考えておりました。平成19年度より、理・工・農・SSCの新入学生に対して、事前の学力テストを実施し、補修の必要のある学生に対しては、補習授業を開講しています。
微積分	出席番号の前半と後半でレベルが違いすぎる点はどうかして欲しい。これでは不公平だ。	授業計画を立案する組織で検討を行います。